

# 阿蘇山&久住山山行報告

【山行日】2021年 月 12~15日(土~火)

【集 合】岩舟支所P AM 4:30

【費 用】マイカー1台 : 69,500円

【メンバー】CL:鈴木 SL大西

安西、島田、関、渡辺

12日 曇り後雨 羽田空港から熊本空港へ向かい、レンタカーにて阿蘇山西登山口に向かうも荒天により登山禁止ため、火山博物館・阿蘇神社を観光し長者原のオーベルジュ・コスモスへ

岩舟支所P4:30=つばさパーキング 5:45/6:00=

羽田空港 6:20/7:15→熊本空港 9:05/9:30=ニッポン

レンタカー 9:40/10:00=阿蘇山西登山口 11:20

=火山博物館 11:30/12:30=阿蘇神社 14:00/14:30=オーベルジュ・コスモス 16:00

10年前のこの時季に久住山から平治岳に登り、山全体をピンクに染めるミヤマキリシマの花に感動



し、もう一度あの絶景を見たいとリクエストがあり計画した。いつものように空港近くのパーキングに車を預け、羽田空港まで送ってもらう。羽田空港を7:15に出発し、定刻の9:05に熊本空港に着く。

ニッポンレンタカーで車を借り、阿蘇山の仙酔峡登山口へと向かう。天気は雨の予報であったが雨は降っておらず、空が明るいので登れると思いながら車を走らせた。ところが途中から雨が降り出したので、安全を期して火口西登山口から登ることに変更し火口西に向かう。途中のコンビニで昼食を購入し、食べながら登山口に向かった。阿蘇登山道路を走って行くが、緑の牧草地の緩やかな山並みがとて



も美しい。高度が上がるとガスが出て視界が悪くなり、草千里ヶ浜の絶景が見られなかった。阿蘇山公園道路の入口に着くとゲートが閉まり、荒天の為通行止めになっていて登山禁止の札が下がっていた。阿蘇山の登山はあきらめ、草千里ヶ浜の視界も悪いので道路の反対側にある火山博物館を見学する。

阿蘇山における火山活動や、噴火の歴史についてジオラマ模型や映像で詳しく見られる。阿蘇山中岳の火口周辺をリアルタイムで見られるライブカメラもあり、阿蘇山の今をタイムリーに見ることが出来る。ここから阿蘇神社に向かい、途中の阿蘇駅前にある道の駅「阿蘇」に寄り道する。皆さんコンビニのおにぎりではお腹が空いたらしく、好きな物を購入しテーブルで腹ごしらえしていた。ここから間もなく阿蘇神社に着いたが、神武天皇の孫神で阿蘇を開拓した「健甞龍命」をはじめ12神を祀り、2000年以上の歴史を有する古社である。中でも日本三大楼門と言われる楼門は有名で、震災により倒壊し現在は復旧工事を進めていて見られない。また、拝殿も倒壊したが復旧工事が終わり、真新しい拝殿を見ることが出来たが、拝殿の奥にある3つの神殿は見られなかった。ここからはやまなみハイウェイを走り、今宵の宿「オーベルジュ・コスモス」へと向かう。



曇り空だが明るく、景色を楽しみながら爽快に走り長者原の駐車場に着く。ここで明後日のコミュニティバスの、停留所と時間を確認する。下山後このバスを利用して、牧ノ戸峠まで車を回収しに行く。オーベルジュ・コスモスは、駐車場から直進し300mくらいの左側にある。

チェックインを済ませたら部屋に行き、荷物を整理したら温泉に浸かる。この宿の温泉は赤い色の鉄鉱泉で、体が良く温まり冷めにくい。湯上りにビールをいただき、部屋で軽く反省会を行う。18時から夕食の時間になり1階のレストランに行く。大きなガラス張のレストランでいただくフレンチのフルコースは、とても美味しくボリューム。皆さん美味しい物をいただくと笑顔になり、会話が弾む。コロナの影響で、今日の宿泊客は我々ともう一組だけ。これほど素晴らしいロケーションの中で、美味しい料理をいただける宿はめったに無く、もったいないと思った。

ディナーが済んだら部屋に戻り、明日の準備を整えて早めに床に就いた。

**13日 曇り時々晴れ後雨 牧ノ戸峠から扇ヶ鼻と久住山に登ってミヤマキリシマを堪能し、久住分れから北千里浜経由で法華院温泉へ**

**コスモス7:00=牧ノ戸峠P7:10/7:30~分岐9:10~扇ヶ鼻9:30/9:40~分岐10:00~久住分れ避難小屋10:20/10:50~久住山11:20/11:50~久住分れ12:10~北千里浜13:10~法華院温泉14:20**

オーナーの計らいで、朝食の時間を30分早くいただくことが出来た。朝食も緑の森に囲まれたレスト



ランで、とても美味しくいただき皆さんとても満足そうな顔をしていた。準備を整えて朝食を食べたので、トイレを済ませたらすぐに出発する。ミヤマキリシマの時は牧ノ戸峠駐車場が満車になるが、1時間早く出られたお蔭で登山口の近くに車を止めることが出来た。トイレとストレッチを済ませ、登山届をボックスに入れたら出発する。舗装で固められた登山道を登り、灌木帯の急登を登ると東屋がある広場に着く。東屋で休憩し、衣服調整と水分を補給する。ここから右折し最後の急坂を登り切ると平坦な沓掛山の肩に着く。ここまでは舗装された登山道だが、この先は本格的な登山道を登るようになる。ミヤマ

キリシマの花が見られるようになり、ピンクの可憐な花に癒されて軽快に登って行く。沓掛山をハシゴで下ってカラマツ林の横を通り、しばらくは展望の良い広い平坦な稜線が続く。両側にミヤマキリシマが咲き、前方にはピンクに染まった山々が見え「エ～あれに登るんだ!!」とテンションが上がる。左側の星生山の斜面もピンクに染まり、はじめてのお二人は大興奮。今日、明日と2日間は天気良さそうなので、のんびりと花を楽しみながら歩いて行く。

ナベ谷源頭部のガレ場を通過すると灌木帯になり、このあたりの新緑はアセビやドウダンが多くとても柔らかい。灌木帯を抜けると緩やかな登りが続き、やがて扇ヶ鼻への分岐がある台地に出る。分岐を右に進み急坂を登り切ると緩やかな登りとなり、両側にミヤマキリシマの群生地が広がっている。高度が上がるとガスが掛かって視界が悪く、扇ヶ鼻山頂までは登山道の近くしか見えなかったが、山頂からの下りはガスが晴れピンクのミヤマキリシマが一面に広がっていた。あまりの素晴らしさに皆さん笑顔になり、すれ違う登山者も皆笑顔で「凄い景色ですね～～」と言葉を交わす。小高い展望所に登ると扇ヶ鼻全体が見渡せ、また感動の嵐に包まれる。今回の久住連山のミヤマキリシマは、扇ヶ鼻の群生地が一番の見ごろのポイントだったと思う。大感動で分岐まで戻ると天気が一変し、急に雨が降り出した。



「凄い景色ですね～～」と言葉を交わす。小高い展望所に登ると扇ヶ鼻全体が見渡せ、また感動の嵐に包まれる。今回の久住連山のミヤマキリシマは、扇ヶ鼻の群生地が一番の見ごろのポイントだったと思う。大感動で分岐まで戻ると天気が一変し、急に雨が降り出した。

急いでレインウェアを着けて、久住分れの避難小屋へ急いで向かう。西千里ヶ浜と言われる場所を



通り、大きな岩がゴロゴロした道を下ると広い平坦な道になり、まもなく避難小屋に着く。避難小屋は改装されてとても綺麗で、隣にトイレ棟が建ち大勢の登山者が雨宿りしていた。我々も中に入って休憩し、行動食を食べて雨脚が弱くなるのを待つ。20分ほど待つと雨脚が弱くなり、久住山に向かって出発する。ゴロ石の多い火山礫の登山道を登り、最後の急坂を登ると稜線に出る。大きな岩が重なる稜線を右に進むと、わずかな距離で久住山山頂に着く。山頂で記念写真を撮ったら北側の斜面を少し降り、風が当たらない場所でランチタイムとする。それぞれ持参したランチを食べ、温かいお茶で喉を潤

す。少し薄日が差し、暖かい場所で落ち着いて食べることが出来た。

エネルギーを補給したら元気が出て、久住分れまで戻って分岐を右に下り法華院温泉に向かう。

久住分れから北千里ヶ浜に向かう道が歩きにくい。途中から雨が落ちて来て、再びレインウェアのお世話になる。砂礫の急斜面を谷底まで下るが、大きな岩の段差がいくつも出て難儀する。ようやく谷底まで下り、休憩を取りレインウェアを脱ぎおやつタイム。ここからは広く荒涼とした谷を、左手に硫黄山を見ながらケルンに突き当たるまで進む。突き当たった所がスガモリ分岐で、分岐を右に法華院温泉に向かって進む。広い河原を歩いて行くが道が分かりにくく、ガスっているので余計分かりにくい。石積のケルンを探しながら歩き、沢沿いに下ると登山道がはっきりしてきた。沢沿いの樹林帯を下ると、大きな砂防ダムを超えるとコンクリートの道を下るとになり、まもなく法華院温泉に着く。



温泉の屋根の下に入ると雨が激しく降って来て、間一髪雨が降る前に宿に着くことが出来た。受付を済ませたら部屋に移動して落ち着き、荷物を整理したら温泉に浸かる。秘湯の宿として人気があり、特にミヤマキリシマのこの時季は予約を取るのが難しい。温泉はコンクリートの湯船に変わっていたが、源泉かけ流しで石鹸やシャンプーは使用禁止である。ゆっくりと温泉に浸かり、汗を洗い流すだけでも疲れが取れる。温泉から上がったら男性だけで反省会を行い、18時から夕食タイムになり食堂でいただく。

こんな山奥で温泉に入り、御馳走をいただける

だけで幸せを感じる。感謝しながら美味しくいただき、部屋に戻ったら明日の準備を整え、今回のメイン登山に備えて早めに就寝する。

**14日 晴れ 法華院温泉から大船山に登り、段原からミヤマキリシマの尾根を歩いて大戸越に下り、平治岳に登り返してミヤマキリシマの絶景を楽しみ長者原へ下山後、熊本市内のアークホテルへ。**

**法華院温泉 5:00～段原 6:40～大船山 7:00/7:10～段原 7:40～大戸越 9:00～平治岳 9:40/10:00～大戸越 10:30～坊ガツル 11:40/12:00～長者原 14:10/14:30＝アークホテル熊本城 16:50:**

朝4時に起床し窓の外を見ると、雨が上がり明るい空になっていた。ヤッターと心の中で叫び、自炊室に行って朝食の弁当をいただいた。ゆっくり花を楽しめるようにと、出発時間を1時間早くした。



法華院温泉を5時に出発し、坊ガツル湿原の北側を横切り大船山への登山道に入る。アセビやリョウブ等の樹林帯の道を登り、稜線を目指しゆっくり高度を上げて行く。昨夜の雨でぬかるんでいると思ったが、ぬかるみは少なくて思ったより歩き易い。しだいに樹高が低くなり、背後に久住山や三俣山等の山々が見えてくると段原に着く。ここが大船山と北大船山の鞍部で、大船山へは稜線を右に進む。こちら辺もミヤマキリシマが見頃で、皆さんの顔が自然と笑顔になってくる。大船山へは20分の急登を強いられるが、ミヤマキリシマや展望を楽しみな

がらあっけなく頂上に着く。山頂は狭いが、同じ九重山群の中岳に次ぐ、九州本土第2の高峰で展望も雄大である。雄大な展望を楽しんだら記念写真を撮り、往路を段原まで戻る。段原からもう一つの目的地である平治岳を目指す。段原から北大船山、平治岳にいたるミヤマキリシマの大群落は国の天然記念物に指定されていて、まさに花の桃源郷である。

凄〜い凄〜いと言いながら、段原から北大船山を抜け、大戸越を目指して急斜面のガレ場を下って行く。

下り切った鞍部が大戸越で、坊ガツルと男池からの道が合流する十字路になっている。ここを直進し平治岳の西斜面を直登するが、ミヤマキリシマの時は登りと下りが別々の道になっている。登り専用の登山道を登って行くと平治岳南峰に出て、ここから右に尾根伝いに進むが南峰から山頂までの間が素晴らしい。ミヤマキリシマの花のピークは少し過ぎていたが、それでも山全体を埋め尽くすミヤマキリシマの花に圧倒される。山頂に着き記念写真を撮ったらランチタイムとし、それぞれが持参したランチをいただく。ミヤマキリシマに囲まれて食べるランチは格別で、思い切



って計画して本当に良かったと思った。皆さんも満足そうに笑顔でランチを楽しみ、我輩と同じ思いを抱かれたと思う。ランチを楽しんだら下山するが、下山がまた素晴らしい。登りと違い、上から見下ろしな



がら下るので、山肌を埋め尽くすミヤマキリシマが良く見える。皆さんも「ウワ〜凄〜い」と言いながら楽しそうに下って行く。鞍部の大戸越まで下り、ここから右に進んで坊ガツルに向かう。灌木帯の中、ゴロ石と水はけの悪いぬかるんだ道が続き、平坦な道になると往路の大船山への道に出る。ここを右折すると坊ガツルキャンプ場で、トイレに寄って休憩し疲れた体を休める。ここから坊ガツル湿原を横断し、長者原への分岐を右折し九州自然歩道を進む。雨ヶ池越を越えて少し下ると木道を歩くようになり、湿原の中を気持ちよく歩いて行く。ここからは美しい樹林帯の道を歩いて行くと、コースタイムより時間

が掛かっている所以我輩は先行する。急ぎ足で長者原に向かい、長者原のバス停に着く。コミュニティバスで牧ノ戸峠まで行き、車を回収して長者原に戻る。

皆さんが駐車場で待っていて、靴を履き替えたら荷物を載せ熊本市のホテルへ向かう。道中の車の中ではミヤマキリシマの群落や、宿の温泉が素晴らしいと会話が弾みアークホテル熊本城へ到着した。駐車場が分かりにくく、グルッと1周して警備員の方に駐車場を教えてもらった。チェックインを済ませて部屋に入るが、コロナの影響で大浴場は無く部屋の浴室を使用する。入浴が済んだらフロント前に集合し、夕食を食べに街へ繰り出す。ホテルの裏の狭い道を歩き、大きな倉庫を改造した「ビアレストラン壱ノ倉庫」という店に入る。高い天井とレトロな感じの内装で、とても雰囲気の良い店だった。18:30分まで酒類のタイムサービスがあり、30分間は超お得な価格で飲めてラッキー。女性達も赤牛丼等好きな物をオーダーし、味も美味しいと喜んでいた。夕食が済んだらホテルに戻り、直ぐにベットインして眠りに就いた。



**15日 曇り後雨 熊本城伏見稻荷神社から加藤神社、熊本城、水前寺公園と市内観光し、熊本駅前のショッピングセンターでランチと買い物し、熊本空港から羽田空港に向かい岩舟支所へ帰着**

アークホテル 8:30＝熊本城伏見稻荷神社 8:40/9:00＝加藤清正神社 9:10/9:25～熊本城 9:30～加藤清正神社 9:40＝水前寺公園 10:00/10:50＝熊本駅前ショッピングセンター 11:10/12:20＝ニッポンレンタカー 13:05＝熊本空港 13:15/14:50→羽田空港 16:40/17:10＝つばさパーキング 17:30＝岩舟支所 19:30

今日は熊本城を見学する観光デーである。4月26日から熊本城の本丸特別公開が始まるので、最終



日の宿を熊本城の近くにとった。しかし熊本県のコロナ感染者が急増し、先月から蔓延防止等重点措置適用になり熊本城の特別公開が停止された。6月13日で熊本県の蔓延防止等重点措置が解除されたので、14日から公開されると期待したが30日まで維持することになった。6時30分に朝食会場の10階レストランに行き、朝食バイキングをいただく。好きな物をトレーに取って席に着くと、大きな窓ガラスの向こうに熊本城の天守閣と小天守がドーンと見えるではないか。最高のロケーションに皆さん大喜びで、景色を楽しみながらいただく朝食は格別に美味しく感じた。朝食が

済んだら部屋でゆっくりし、8時30分にホテルを出発し熊本城稲荷神社に向かう。この神社は、1588

年加藤清正公が肥後の国主として入国するに当たり勧請した由緒ある神社である。参拝が済んで熊本城の二の丸駐車場に向かったが、ナビの案内で行くと加藤神社の前で行き止まり。「そんなバカな」と思ったが、せっかくだからと加藤神社に参拝したが、この神社の主祭神は加藤清正公で熊本市民はもちろん、県内外の方々にも仰がれる神社である。境内から熊本城の天守閣と小天守が至近距離にあり、記念写真を撮る絶好のポイントになっている。神社を参拝したら、歩いて二の丸駐車場に向かう。二の丸の北口に着くと入口が閉鎖されて城内に入れない。警備員の方に聞くと今月いっぱい入場できないとの返事。事前にTELで確認し、「天守閣の特別公開は中止になるが城内は見学できます」と言われたが…。入れないので仕方が無く、道路を歩きながら見るしかない。



途中、天守閣と小天守、宇土櫓が並んで見える場所があり、あらためて素晴らしい城だと思った。熊本城は築城の名手加藤清正が1607年に完成させ、石垣の美しさは日本一で「忍び返し」と呼ばれる石垣



は見事である。今回はその石垣も見ることが出来なくて残念だったが、またコロナが終息したら来ることにし水前寺公園へ向かった。水前寺公園は、正式には水前寺成趣園と呼ばれ、加藤家が改易された後、細川忠利が熊本藩主となり、一寺を設けて「水前寺」と号したことが始まりとされている。後に二代藩主細川光尚公、三代藩主綱利公にわたり作庭が行われ、現在と同じ規模の庭園が完成したそうだ。阿蘇の伏流水をたたえる回遊式庭園で、国の名勝・史跡に指定されている。反時計回りにゆっくり見学し、最後は園内にある出水神社を参拝して駐車場に戻った。時間が有るので熊本駅前のショッピ

ングセンター「アミュプラザくまもと」に行き、お土産買いとランチをいただく。最近できたばかりの大型商業施設で、グルメとみやげが勢ぞろいした人気のスポットだ。12時30分集合にして、自由に買い物やランチを楽しんだ。ここからニッポンレンタカーに向かい、車を返却して空港へ送っていただく。搭乗手続きを済ませたら最後のお買い物し、予定の時刻に熊本空港を出発する。機長の案内では16:20頃到着と言っていたが、羽田空港上空で20分旋回し16:40に遅れて到着した。つばさパーキング出発が17:30になってしまい、首都高速の渋滞にはまったが予定より早く岩舟支所に帰着出来た。梅雨の時季で登山は出来ないと思っていたが、久住山から大船山、平治岳の3座を登り、素晴らしいミヤマキリシマを堪能でき、大満足の山行となった。

